

保健センターだより



※健診・教室等についてのお申し込み・お問い合わせは
保健センター（TEL 0735-62-6206）まで

6月の行事カレンダー

母子関係事業

実施日	内容
6月 2日 (木)	10ヶ月児健診
6月 3日 (金)	未就園児親子教室きらきらくらぶ
6月 7日 (火)	日本脳炎予防接種 (初回)
6月 8日 (水)	日本脳炎予防接種 (追加)
6月 9日 (木)	2歳6ヶ月児健診
6月10日 (金)	日本脳炎予防接種 (初回)
6月14日 (火)	かるがもひろば
6月15日 (水)	日本脳炎予防接種 (追加)
6月16日 (木)	3歳6ヶ月児健診
6月17日 (金)	未就園児親子教室きらきらくらぶ
6月23日 (木)	午前 6ヶ月児相談「TETOTE」 午後 4ヶ月児健診
6月24日 (金)	日本脳炎予防接種 (初回)

成人関係事業

実施日	内容
6月 4日 (土)	集団健診 (町立体育館)
6月 5日 (日)	集団健診 (町立体育館)
6月14日 (火)	健康相談 (保健センター) 午後1時30分～午後3時 希望者に骨密度測定を実施します。 ◎ 40歳以上の女性で先着30名様まで ◎ 6月13日までにお申込みください。

※ 各事業の対象となる方には、個別にご連絡をしています。

治療費・通院日数が少なく
なくて済むうちに、歯垢除
去などの必要な治療を
受けておきましょう!



個別健(検)診のお知らせ

期間：平成28年6月 1日から
平成29年1月31日まで

- ▶ お申し込みをされている方
お手元の通知をご覧ください、受診し
てください。
- ▶ お申し込みをされていない方
保健センターまでご連絡ください。

歯周疾患検診のお知らせ

6月1日から検診が始まります!
(無料)

- 対象者
平成28年4月1日～
平成29年3月31日までの間で
40歳・50歳・60歳・70歳になる
申本町民

※ 対象者の方には5月下旬に個別通知
をしています。

6月20日(月)～7月19日(火)は 「ダメ。ゼッタイ。」 普及運動(薬物乱用防止)期間です。

麻薬等の薬物乱用は人間の生命はもとより、
社会や国の安全・安定を脅かすなど深刻な
社会問題となっています。



5月31日(火)～
6月6日(月)は
禁煙週間です。

5月31日は世界保健機関(WHO)が定め
る「世界禁煙デー」です。たばこは肺がん
をはじめ多くの病気の危険因子となりま
す。自分の健康そして家族のために節煙、
禁煙を!

住民課からのお知らせ

国保財政の健全化に向けて(16)

今回は国保28年度予算のうち、国保税について税率見直しの影響などを説明します。

平成28年度予算：国保税について

28年度の現年分国保税予算額は27年度当初より876万1千円増加し、4億6,992万5千円となりました。また、3月号で紹介した国・県・町からの財政補てんは約2,000万円増加し、1億4,636万円とすることができました。

一見2,876万しか収入が増えていないように見えますが、これは加入者数が減少しているためと徴収率をかけているためで、本当の財政効果ではありません。これでもし、税見直しが行われなかったら、国保税や財政補てんはいくらになっていたのでしょうか？それが本当の財政効果額となります。

	28年度予算額 (現年分)	27年度税率で 試算した予算額	差額=財政効果
国保税	469,925千円	426,720千円	43,205千円
国等からの財政補てん	146,361千円	136,232千円	10,129千円
			53,334千円

税率見直しによる財政効果!!

そこで、27年度の税率で試算した結果が上の表です。

国保税は4,320万5千円少なくなってしまう、財政補てん額は1,012万9千円少なくなります。この差額の合計5,333万4千円が本当の税率見直しによる財政効果です。

国等からの財政補てんが27年度予算より2,000万円増えているのに、上表の試算差額(=財政効果)が1,012万円程度というのは不思議な感じがします。

これは前々回でも少し触れましたが、法改正による財政支援が毎年厚くなっていることによるもので、税率見直し以外の理由による財政効果が988万円程度(2,000万円-1,012万円)はあることが分かります。

管理栄養士のお話

高血圧について⑧

日本人は遺伝的に腎臓からナトリウムを排出しにくいと言われてています。

腎臓からレニンという酵素が分泌されると、アンジオテンシンというホルモンが作られます。このアンジオテンシンによって、腎臓は血圧を一定に保つ手助けをしています。

しかし、腎臓の働きが悪くなると、レニンの分泌が増加し、アンジオテンシンがさらに作られます。

その結果、アンジオテンシンが血管を収縮させ、腎臓に直接働き、尿からナトリウムを吸収させるほか、副腎からアルドステロンというホルモンを分泌させるので、ナトリウム排出を妨げ、さらに血圧が上昇してしまいます。

